

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スラックライン施設による教育、文化の振興に関する事業
事業主体 (連絡先)	小布施スラックライン部 長野県上高井郡小布施町雁田 676
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,467,434円 (うち支援金: 993,000円)

事業内容

- スラックライン体験会・指導実施
 - 5月24日 飯山市秋津小学校 参加人数: 42名
 - 5月30日 朝日村 参加人数: 38名
 - 6月6日 上田市スポーツ少年団 参加人数: 26名
 - 6月21日 小布施栗花市 参加人数: 30名
 - 7月12日 小布施バトミントーナメント大会参加人数: 70名
 - 8月22日 伊那文こどもまつり 参加人数: 60名
- スラックライン施設の安全な施設管理
ラインの交換・アンカー工事・ウッドチップ整地
整備日程 6月20日～8月22日
- 指導者の育成教育



【体験会の様子】

【目標・ねらい】

- ① スラックラインの普及活動
- ② 指導者の育成教育
- ③ 企業と住民の協働施設管理
- ④ 次世代に夢を抱ける環境づくり

事業効果

・「人が集まる楽しい環境づくり」のお手本に、小布施スラックラインパークをモデルに他の県・市町村にもパークが作られました。

長野県上水内郡信濃町：野尻湖LAMPスラックラインパーク
長野県上水内郡飯綱町：天狗の館スラックラインパーク
宮城県女川町：女川スラックラインパーク

・検定合格者（指導者認定）
100人（平成27年4月）から149人（平成27年8月22日）に増えました。

・スラックラインプロライダーが5名（高校生4名・小学生1名）育成されました。ワールドカップ日本代表にも高校生1名が選ばれました。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・小布施スラックラインパークの仕組み・環境をモデルに他の県・市町村にもパークが作られた。
- ・指導者育成により利用者皆が夢を抱ける人材に育っている。

今後の取り組み

- ・自然豊かな環境の中で輝ける人材育成と地域全体で施設管理が取り組める更なる新しい仕組みを構築し、モデルになるように展開していきます。
- ・小布施町は、スラックラインの全国大会が10月24日に決定しています。今年行われたドイツ開催スラックラインワールドカップに日本代表として、小布施スラックライン部の高校生が出場しました。今後は小布施町でスラックラインの世界大会も視野に入れて取り組んでいきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある